

ふれあい通信

137 アットホーム



薩摩郷句

兼題「人数」

猫も人数し入れつ婆様は家族一人

(唱) 息子ん名前前どんつつけ呼ばこつ

西ノ園ひらり

下戸様も勘定払れは人数のうつ

(唱) 交際げが良かち妻けな叱らえつ

高辻満天

バスん旅行停い度い人数ず積つ

(唱) ご苦労様ち年中遅れつ

満石江吟

再婚同士少人数でちんと結婚式く挙げつ

(唱) 子供がおめでとち花どん呉れつ

北村虎王

講演のちんぶんかんも人数じ積つ

(唱) 背負た赤子もしつかい一人

諸木小春

大崎短歌会

なつちゃんに貰いし生花は食卓で
姉妹和ます敬老の日に

坂元つる子

両の手をはみ出す程の梨を食ふ
夫の病窓に夕日を見つ

山下初枝

本を読む時と視力に恵まれて
痛み忘れし今日を感謝す

餘利野静子

月齢は二十八か九それよりは
齢重ねて月仰ぎをり

大和てるみ

墓道に咲くまんじゆしゃげ舞ふ揚羽
ともにお参り彼岸中日

中崎はなえ

大崎俳句会

成り行きに任す余生や秋の風

山下初枝

花火みてふるさとの夜去り難く

益倉睦美

蓑虫のひとり遊びや風にゆれ

宮下のし

むら雲や萩の花散る夜半の雨

二見淑子

故郷の訛なつかし零余子採る

折田スズ

河童鳴く民話の里や旅の秋

内村美恵子

雨やみて元の瀬音やカンナ咲く

坂元つる子

2008 ふれあいフェスタ in おおさき

とき 11月23日(日) 雨天決行

ところ 大崎ふれあいの里公園
(国道220号沿い 大きなカブトムシが目印)



高瀬一郎歌謡ショー
(大崎町出身)

主催：ふれあいフェスタ実行委員会

(大崎町・JA鹿兒島・百姓一気おおさき300人衆・大崎町社会福祉協議会・大崎町商会)